



2 エッセイ／“おかね”を語る
お稽古のルール 作家 群 ようこ

4 インタビュー／扉を開く
池井戸 潤 作家

エンターテインメント小説は登場人物の数だけ人生がある



9 地域の底力——福岡県朝倉郡東峰村
厳しい苦難に立ち向かい
復興を目指す福岡県東峰村



16 対談／守・破・創

浜田宏一 イェール大学名誉教授・東京大学名誉教授・内閣官房参与

櫻井 眞 日本銀行政策委員会 審議委員

偏差値エリートはもういない 芸事に触れて「真善美」を学べ

20 FOCUS → BOJ ③④ 日本銀行北京事務所 海外事務所の仕事

刻々と変化する海外の実像に迫る

日本銀行のレポートから

24 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2020年1月—

26 「地域経済報告」(さくらレポート) —2020年1月—

32 トピックス

「FSBレポ統計の日本分集計結果」の公表を開始 ほか



35 AIR MAIL from Washington, D.C.

グローバルな街ワシントンD.C.

表紙のことは

日本銀行静岡支店は、昭和十八年（一九四三）六月に日本銀行の二三番目の支店として静岡市下石町（現在の葵区常磐町）に開設されました。

最初の店舗は、開設からわずか二年後の昭和二十年（一九四五）六月、第二次世界大戦の大空襲により、金庫館を残して焼失してしまいました。翌日から、焼失を免れた静岡銀行本店等を仮営業所として業務を再開しました。

表紙の二代目店舗は、初代店舗が焼失した年の十一月、呉服町にあった静岡銀行の店舗を買い入れ、移転したものです。移転直後、この建物の二、三階を進駐軍が連隊本部として使用することになりました。したが、翌年には同軍が他県に移ったため、再び全館が使用できるようになりました。その後、建物内が手狭であったことなどから、金庫館や倉庫等を増築しました。昭和四十七年（一九七二）十月に三代目となる現在の店舗（葵区金座町）に移転するまでの二七年にわたり、二代目店舗は静岡のまちを見守り続けました。



表紙・画 北村公司